

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 文化会館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 文化会館の利用許可及び市内施設の受付業務に関すること。 (3) 市民の文化、芸術及び教養の向上並びに福祉の増進を図るために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)=(R5年度実績)÷(R3年度実績) 大ホール:53.2%(平均値比101.9%=53.2%÷52.2%) 小ホール:58.4%(平均値比127.8%=58.4%÷45.7%) 展示室A:43.4%(平均値比87.9%=43.4%÷49.4%) 展示室B:50.6%(平均値比94.4%=50.6%÷53.6%) 大会議室:54.1%(平均値比140.2%=54.1%÷38.6%) 練習室1:49.8%(平均値比120.0%=49.8%÷41.5%) 練習室2:37.9%(平均値比108.9%=37.9%÷34.8%) 練習室3:43.0%(平均値比120.8%=43.0%÷35.6%) 練習室4:23.5%(平均値比141.6%=23.5%÷16.6%) 和室:27.4%(平均値比110.9%=27.4%÷24.7%)	5点
						平均値比(108%)=利用率(47.5%)÷44.1%(上記③適用)			
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(185%)=利用人数(延べ157,361人)÷84,951人(上記③適用)	
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P9～11 ①市民文化祭 (1)邦楽の部(2日間、来場552人、出演25団体・210人) (2)器楽・合唱の部(2日間、来場635人、出演28団体・271人) (3)ダンスの部(2日間、来場2,375人、出演23団体・657人) ②まるごと1日音楽の日inたじみ (1)大会議室:こども・おんがく・ぱーく!(来場154人、出演11人) (2)小ホール:思い出の昭和歌謡(来場185人、出演4人) (3)大ホール:メインコンサート(来場547人、出演139人) (4)市民ホール:世界の民族打楽器展(来場300人)	仕様書以上 13点	①市民文化祭 コロナ禍で令和2年度以降は無観客や個別発表会等の開催してきたが、5年度は一般来場者を交え従来の方法で開催。全ての部門において来場者、出演団体の回復に努めた。 【出演者数の推移】 邦楽の部:R元/376人 R2/58人 R3/109人 R4/123人 R5/210人 器楽・合唱の部:R元/403人 R2/131人 R3/80人 R4/205人 R5/271人 ダンスの部:R元/863人 R2/558人 R3/723人 R4/669人 R5/657人 ②まるごと1日音楽の日inたじみ 陶都楽友協会との共催により、子どもから高齢者まで様々な世代が楽しめる音楽イベントを開催。特に未就園児対象と幼児から小学校低学年までを対象にしたコンサート「こども・おんがく・ぱーく」、また一般募集による市民合唱団82人と市交響楽団52人が全10曲、約30分の大曲を披露したメインコンサートなど、市民の声に応え、多くの市民へ発表の場の提供に努めた。	13点	
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P12～26 ①25歳以下の人々に向けた各種支援プログラムを実施 (1)子どもを対象にした参加体験事業(29事業) (2)25歳以下の料金設定(無料招待を含む)を設けた事業(25事業) (3)子どもや若手演奏家が活躍する公演(13事業) ②にぎわい創出事業(17事業・来場者1,800人) ③市民企画応援事業(7事業・来場者2,731人) ④市民活動支援事業(8事業・来場者667人) ⑤子育て支援事業(5事業・3,977人) ⑥地域の演奏家とのジョイント事業(4事業・来場者954人) ⑦芸術普及活動事業(17事業・来場者1,304人) ⑧生の舞台芸術鑑賞事業(12事業(中止1事業)・9,628人)	期待以上 13点	①「出張文化ホール」は新たに多北高、さわらび学級を加え、小学校7校、高校2校、さわらび学級で実施。事前に学校との意見交換を行い、子どもたちの求める特色あるプログラムの展開に努めた。 ②「たじみ思い出ドラマ」は、高校生とアーティストがワークショップを重ね、市民参加での演劇公演に導いた。 ③「ふらっとコンサート」は様々な会場を用いて10事業を実施。うち6事業は若い演奏家を起用し、有望なアーティストの育成とともに、気軽に足を運べる企画が定着している。 ④地域の演奏家と連携して子どもも参加できるギター、ドラム、ヴァイオリンの講座により、子どもたちの文化活動の活性化に寄与している。	13点			
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P27 ①令和4年度の大規模改修工事で床材が大きく変わった箇所には、それに見合った清掃方法を選択して実施。 ②入居するレストランの全面ガラスの清掃を管理業務の範囲内で実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 レストランの窓ガラスの清掃は管理対象外であるが、施設全体の景観に配慮して取り組む姿勢が見られる。	10点
			②保守・点検			年次報告書P27～28 ①大規模改修工事による機器の変更に対応し「中央監視装置・自動制御機器保守点検」「映像設備点検」を5年度から新たに実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			年次報告書P28 ①適正に実施し、保安上の問題やトラブルは発生なし。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			年次報告書P29～30 ①有償修理 21件 総額1,997,565円 ②大規模改修工事の施工対象外となった箇所での故障・トラブルが継続して発生しており、その場合は迅速に修繕を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P30 ①毎日、施設利用が始まる前に各部屋と屋外を巡回点検。 ②市が作成した日常点検チェックシートに基づく点検を2週間に1回実施。 ③過去の故障、トラブル等の発生箇所を示した「危険発生・要注意箇所マップ」「雨漏り・漏水マップ」等を作成し随時更新。危険箇所の「見える化」を図る。 ④危険箇所を発見した場合や実際にトラブルが発生した場合は、速やかに修繕等を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	

2	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P31 ①市ファイリングシステムに準じて、適正文書管理に努めている。 ②大規模改修工事に対応した図面(工事図面・完成図書等)、過去の修繕資料、申請書類等の分類リストを更新。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点		
		②環境への配慮			年次報告書P31 ①電力会社のホームページで電力の使用状況を監視。無駄な電気を使用せず、デマンドを抑制。 ②敷地周辺の景観と安全を保つよう樹木の強剪定を実施。 ③毎週2～3回、建物周辺の環境整備作業を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
		③バリアフリー			年次報告書P31 ①ホール催事に車いす利用者が見受けられる場合は、開場前に予めお声がけを行い、入場口を別にしたり優先入場を行うなど、安全面で配慮している。 ②ホール催事の際は子どもが鑑賞しやすいよう補助クッションの貸出しやベビーカー置き場の開設等を実施。 ③高齢者が多いホール催事では、ロビーや空き部屋に椅子を並べ、開場時間まで座って待ついただけるよう配慮。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
		④備品管理			年次報告書P31 ①大規模改修後入れ替った備品のリストの再整備を実施し適切に管理。 ②改修工事を機に各備品の保管スペースを見直し、机・椅子専用の倉庫を新設。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
		⑤個人情報保護			年次報告書P31 ①個人情報を含む書類等は鍵のかかるキャビネットに保管。廃棄はシュレッダーで裁断か処分場へ持ち込み。 ②チケット予約等で収集した個人情報は適切に管理。本人承諾の範囲内(イベント情報の送付等)に限る使用を徹底。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点 事故等対応に不備あり:△1点	年次報告書P32 ①駐車場と歩道を仕切る鉄製ボールに自動車が接触。ボールが損壊する事故。運転者加入の自動車保険で修理、復旧。 ②敷地外で発生したケガが起因する来館者の救急搬送についてに適切に対応。	事故なし・対応に不備なし 0点	適切な対応がなされている。	0点		
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入178,295,943円÷支出174,085,718円＝102%	105%未満～100%:4点	【参考】令和元年度98% 2年度100%、3年度100%(コロナ支援金込104%)、4年度108%	4点		
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P34～35 ①改善要望の多い駐車場不足への対策として、現在の駅北立体駐車場のほかに新たに民間の駐車場2か所(計309台分)と提携。 ②市営駅北駐車場は、割引サービスの提供時間を2時間から3時間に拡大。 ③笠原中央公民館アザレアホールの廃止に伴う、大会議室の新しい利用方法を市民に提案。市民によるコンサートや映画会、ゲーム大会等の多様な新規利用が生まれる。 ④地域の市民団体等が行う催しに対して、文化会館がプレイガイドとなりチケット販売を行うと共に、会館のチケット販売システムを活用し利便性を向上。	期待以上 8点	①駐車場不足に対応し、割引サービスの時間の拡大、新規の提携駐車場の開拓は指定管理者の負担につながるが、サービス向上に直結する取組みである。 ②笠原中央公民館のホールの廃止により、今までの利用者が文化会館に移行することを見据え、大規模改修で用途が拡大した大会議室の利用を積極的にアピールし、利用促進に努めている。	8点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点 適正(普通):4点 不備あり:3～1点	※苦情なしは5点とする 年次報告書P35 慢性的な駐車場不足に対する苦情に対して ①市営駅北立体駐車場の割引サービスを3時間に拡大。 ②提携先の駐車場を新規開拓し、従来の1カ所から3カ所に拡大。 ③近隣の事業者等に駐車場の借用を依頼し、土日を中心にできる限り臨時駐車場が増設できるよう努める。(約20台～60台分)	苦情なし・期待以上 5点	①受ける苦情は専ら駐車場不足であり、割引サービスの時間の拡大、提携先の駐車場の増加、近隣事業所駐車所の借用など、物理的に困難な課題の解消に取り組んでいる。		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P36～38 ①出張文化ホール(アウトリーチ)の対象を拡大。新たに多北高、さわらび学級で実施。 ②地域の団体と連携して、子どもや若い世代の文化・芸術活動を支援する取組みを拡大。 ③若い世代が活躍する文化事業を積極的に企画して、活動機会の拡充を図る。 ④新しく大会議室を活用した落語会は、他施設との連携や利用者のニーズの把握に努めることで来場者を増やした。 ⑤末永く市民に愛される施設づくりに向け、施設の巡視強化、予防修繕等に積極的に取り組んだ。 ⑥混雑するイベントの開場前には、利用者が時間まで心地よく過せるよう工夫した取り組みを実施。	期待以上 13点	①小学校を対象としていたアウトリーチ事業を高校等にも拡大するとともに、メニューに文学講座やコミュニケーションを高めるワークショップ等を加え、子どもたちに様々な体験の機会の提供に努めている。 ②陶都楽友協会等の地域の演奏家と連携して子どもや若い世代に向けた事業を積極的に企画。また関係団体に、若い世代を応援する取り組みを呼びかけ、その成果が生まれはじめている。 ③大会議室の特色を活かして落語会を開催。高齢者を対象に平日の昼中の開催で新たな来場者を獲得。 ④イベント前に臨時の待合スペースを設け、小さな企画を実施し、退屈な待ち時間を気持ちよく過ごせる環境づくりに努めている。	13点		
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点		
合計			85	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				全体的な評価 ①令和5年1月のリニューアルオープンにより、5年度はその大規模改修後の本領を発揮する年度となり、駐車場のサービスをはじめ各所で利便性を高める取組みが行われた。 ②用途が拡大した貸し部屋の周知や有効利用に努め、利用者増にも努めている。 ③関係する各種団体との連携を密にし、芸術・文化の発信拠点としての運用に期待する。	合計86点	極めて良好